

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2025年	2月	10日	
子ども発達支援センターからふる	利用児童数	2025年	1月	1日	回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	3		・細かく丁寧に書かれている記録を見て職員間で共有することができている。 ・子どもへの関わり方や声掛けを見て参考になる部分は保育に取り入れながら保育を行なった。 ・具体的なアドバイスがあるといいなと思った。 ・助言していただいた内容は以前から担任として行っている。	・日々の保育に活かせるように、より具体的な助言が行えるよう研鑽に努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6	4		・日頃気づかない部分に気づいて下さり、1対1でその子に支援してくださっているのが助かっている。 ・現状に合った知識・技術を教えていただきたいと思う。	。訪問先施設でも活用していただけることを、毎回ご提案していきたいと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	3		・質問すると詳しく丁寧に教えて頂けて勉強になる。 ・改善するべきところを見つけていただきたいと思う。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	6		・月2回の訪問で課題解消は難しく、その中で園と支援員さんと意見交換しながら対象児に対する共通理解はできていた。 ・園の様子、その子に変化など伝えることで、気を付けて見てもらっている。 ・助言や説明はとても明確でわかりやすいが、課題の困りごとが減ったかどうかはわからない。 ・支援者の方が「落ち着いている」という児への判断で遠目から見ておられるが、そばで一緒に遊んでいただきながら、SSTを指導して頂きたいと思う。	・月2回の訪問支援を、支援計画に沿ってより具体的に支援を組み立て地けるように努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6	4		・園ともう少し会話する時間があるとよい。 ・療育の変更の際に、ケース会議を持たれていますが、園側の希望を詳しくいってほしいと思う。（子どもの特徴など）	・支援後に、情報交換を行うように努めます。 ・支援の変更については、今後も関係者で情報を共有しながら、適切な支援が行えるように努めます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・ 支援計画で、支援の目的や本人の弱さなどが理解できた。今後も情報共有して、園でも活かしていきたい。 個別指導は園での姿との違いを知ることができたり、指導方法などを参考にしている。 ・ 子どもの困り感や園での対応の工夫を、保育士目線であったり支援員として具体的に丁寧に説明していただいた。 ・ 日々の様子にも共感と傾聴してもらったことで、保育士の精神的負担の軽減にもつながった。 ・ 記録がわかりやすかった。 ・ 支援が過剰な場面が見られたことが少し気になった。 ・ いつも適切な指導をしていただきありがたい。 ・ 担任の気づかないことや、どんな支援をしたのかなど、担任が理解できていないこともあり、ただ見学されているように見えている時もあるので、集団支援の様子を担当に具体的に（声かけの内容など）伝えていただけるとよい。 ・ 子どもの様子を見て、必要に応じて声をかけてもらえるので、子どもたちにとって安心感が得られていると思う。園では細やかな個別対応が難しいのですごくありがたい。 ・ 支援員の先生がすごく優しく、何でも受け入れてもらえると思われている部分もあったように感じた。 ・ 支援中は注意を受けたくないため落ち着いているが、支援員が帰られた後に反動で子どもの特性が出ていることを理解してほしい。 ・ 療育を減らす方向での保育所等訪問支援事業であれば、園でできることも毎回1つはご提示頂きたい。 ・ 支援計画を保護者から同意を頂いているので内容を教えていただきたい。 ・ 保護者に安心していただくことはとても大切ですが、特性は全く無くなったわけではないことや環境調整等配慮が必要なことなども、専門家の立場から具体的にわかりやすくお話していただきたい。					・ 契約の際に同意を頂き、支援計画については全ての訪問先施設と共有できるようにします。 ・ 集団支援の方法については、他事業所の支援方法について情報収集したり、センター職員も交えて検討していきます。 ・ 様々なご意見を真摯に受け止め、対象となるお子さんやご家族、訪問先施設の職員の皆様にとって、よりよい支援が行えるように、今後も研修等を重ね、支援の質の向上に努めて参ります。	